

様式第3号（第11条第2項関係）

議 事 概 要 書	
令和5年度第1回玉野市高齢者保健福祉事業及び介護保険事業運営協議会	
開 催 日 時	令和5年8月24日（木曜日）13時30分から15時00分まで
開 催 場 所	玉野市役所 3階 大会議室
出 席 委 員	玉野市高齢者保健福祉事業及び介護保険事業運営協議会委員16名 （委員総数17名）
傍 聴 の 可 否 （非公開の理由）	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ</li> <li>2 委員紹介</li> <li>3 諮問</li> <li>4 説明及び報告               <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）計画について</li> <li>（2）現状・変化・推移について</li> <li>（3）基本指針について</li> </ol> </li> <li>5 協議事項               <p>ご意見・ご協議いただきたい項目について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 外出の促進について（アンケート結果より）</li> <li>② 介護サービス基盤の整備について</li> <li>③ 介護人材の確保について</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> </ol> <p><b>【議事録】</b></p> <p>次第4についてのご意見等            〈委員〉介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について、郵送部数2,000件の対象者はどのように選んだのか？            基本方針にあるハラスメント対策は、職員からのハラスメントなのか利用者さんからのハラスメントなのか？どちらを示すものか？</p> <p>（事務局）ニーズ調査については、対象者から2,000人をランダムに抽出している。ハラスメントについては、詳細は不明だが、国の今後の方針を踏まえ、計画の中に盛り込んでいきたい。</p> <p>〈委員〉介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で、本人が希望する介護の形は、介護・保健福祉サービスを活用しながら自宅で生活したいが48%で最も多い。在宅での介護が必要であるが、在宅で介護する人も減</p>

少するため、施設での介護も必要となる。また、介護予防についても在宅で対応する必要があると思う。

（事務局）国も在宅メインに力をいれていくため、新たな複合型サービスを検討している。

〈委員〉いつか人間は亡くなるので、在宅と入院を繰り返して人生の最終を自宅で迎えるということを、いわゆる人生会議とかACPとかということに住民のみなさんへ啓発していかなければならない。

〈会長〉在宅を希望しても、家族がいないと通いの介護になってしまう。本当に在宅の基盤が整わないと希望どおりにならない。ハラスメントについても様々な形態のハラスメントがある。

〈委員〉岡山県は認知症が全国2位と聞いている。

今後、認知症の人が非常に増えていくということで、もう少し取り組むべき課題があるのではと考える。

（事務局）玉野市の認知症対策として、認知症介護予防教室による取組をはじめ、もし認知症になった場合は、ご本人やご家族が集まって情報交換や情報共有ができる場として認知症カフェの委託などを行っている。

これからの認知症対策として、地域におられる認知症の方を、医療に繋げるため認知症初期集中チームというものがある。その他チームオレンジの取組など、地域で認知症の方を支援していこうと進めている。

（事務局）先般、認知症施策がどんどん進んでも正しい理解、偏見などがなくなる限り支援、サポートには繋がらないという話を聞いた。6月に認知症基本法が出された。これに伴い、国から基本計画や様々な施策が示されると思うが、その中に啓発、啓蒙が大事であるということが理念として入っている。

〈委員〉在宅介護がベストであるが、在宅で介護するためには、訪問介護と、何かあればすぐ入院できる病院との連携、福祉サービスの充実が必要である。訪問介護をきちっとしていただければ在宅で介護ができるのではないかと思う。

（事務局）在宅で生活しようと思うと医療と介護は連携を深めてかなければならない。第9期計画の指針案の中には、在宅医療の連携強化が盛り込まれている。今後、玉野市も民間、医師等を含めてどういったことができるのか関係者と協議しながら進めていきたい。

#### 外出の促進について

〈委員〉コロナが増えていく中、高齢者に関しては、予防接種をし、3密を避けたうえで、通いの場へ積極的に参加し、よく喋って、歩いて、タンパク質をとることで認知症は予防できる。

〈委員〉地域（コミュニティ）としては、認知症にならないように、できるだけ多くの人に外出してもらい、いろいろな人と接してもらうことができるのではと思う。

認知症になった人に対して、接し方は非常に大切だと思う。認知症の方を支えていくのがコミュニティの活動だと思う。

〈事務局〉認知症については、地域の力が絶大と思うので、コミュニティに入っている方にご理解いただきたい。また、どう進めていくかは担当部署と相談していく。

〈委員〉いきいき百歳体操、いきいきサロンの場所は一緒か？

〈事務局〉一部被っている。百歳体操だけのところもあるし、サロンだけ独自にやっているところもある。重複しているところもある。

〈委員〉シーバスの活用状況は？

〈事務局〉担当外なので詳細はわからないが、シーバスを使用しているのは、主に高齢者か学生。シータクについては、ほぼ高齢者と聞いている。

〈委員〉いきいきサロンなどで、内職をする仕組みを整えるのはどうか？例えば割り箸を袋に入れたり、ダイレクトメールを出したり。

〈事務局〉内職的なものを含めていくことで、企業と地域の繋がりが増え、生きがいを持てる活動になると思う。今後、協議検討していく。

#### 介護サービス基盤の整備について

〈委員〉2060年をピークに高齢者が減少してくる。10年後、高齢者が減少する中、介護事業者が新たに事業を展開するのは難しい。例えば、市の土地を安く貸す、あるいは無償で貸すとかの思い切った施策が必要と考えるがどうか。

〈事務局〉償還までに高齢者が減少してくる中で、国や県の補助金が増えないと手を上げにくい状況と思う。市の建物や土地を安く貸与してはどうかというご意見は、関係者と協議していく。

〈委員〉施設が増えても働き手がない。高齢者が減少しているので、

	<p>小規模多機能やグループホームは、5年度10年後空きが出ると思う。介護職員が一番足りていない。特にヘルパーさんが足りていない。</p> <p>〈委員〉地域密着型特別養護老人ホームはいくつあるのか。</p> <p>〈事務局〉地域密着型特養は3施設。広域の特養は7施設。</p> <p>〈委員〉市が所管する施設は市がルール決めできるのか？例えば、要介護2、1でも入所が可能とか？</p> <p>〈事務局〉原則要介護3以上だが、特例として要介護1、2の方でも状態によっては入所可能。</p> <p>〈委員〉新たに小規模多機能などの介護施設を作るより、今ある施設を使うと、人材も揃っているため安くすむのでは？</p> <p>〈事務局〉国の制度で事業を行っている。特別養護老人ホームについても介護人材が不足している。</p> <p><u>介護士の定着について</u></p> <p>〈委員〉毎回、施設に行くたびに、スタッフの数が少ない。人材確保の対策を国が考えていかないといけないと思う。</p> <p>〈事務局〉介護職員が不足しているのに、箱物が増えると余計に職員の定着率が減ってしまう。3年前からも同じことが言われているが、ヘルパーが少ない。介護職員をどんどん増やしていく施策は出ていない。市単独ではなかなかできない。今後は、国の方にも働きかけながら、どういったことができるか考えていきたい。</p> <p>〈委員〉人材の確保については頭を悩ませている。数年前から介護の情報発信のためイオンモールでイベントをしたり、各所で写真展を行ったりしている。介護福祉士を養成する学校も少なくなっている。</p> <p>高校に、奨学金制度の紹介をしていただきたい。外国人の採用をしてほしいと意見もあるが、採用するには意識改革が必要である。</p>
特記事項	
事務局	<p>玉野市健康福祉部 長寿介護課 電話（0863）32-5537</p>